

歴史館ボランティアについて

横田 良美

私が歴史館のボランティアに参加するきっかけになったのは、昨年、歴史館のホームページで「歴史館ボランティア」の募集をみつけたことでした。ちょうど、大学で主に歴史について勉強しており、ゆくゆくは学芸員の資格を取りたいと考えていたので、歴史館ボランティアは将来に役立つのではないかと思いました。しかし、同時に今までボランティア活動をしたことがなかったので、どのような活動を行うのか、自分にちゃんと務まるのか不安に思いました。そのため、歴史館の担当者の方に電話でボランティア活動について問い合わせをしましたが、その際に丁寧に対応していただき、また「ボランティア活動は無理をせずにできる限りの範囲でかまわない」ということを聞いて、歴史館ボランティアに応募することにしました。

最初のボランティア活動は昨年の8月に行われた「歴史館まつり」での、チラシ配りでした。歴史館ボランティアの活動は昨年からはまったものであり、私たちボランティアも歴史館の職員の方も手探り状態でありましたが、生涯学習センターなど他のボランティアの活動をお手伝いさせていただくことにより、ボランティア活動というものを学ばせていただきました。

そのほか、昨年は特別展「縄文のムラ・弥生の村」の講演会に参加させていただきまして、今まで知らなかったことが分かり、自分の知識を広げることができました。また、私は参加することができませんでしたが、12月に行われた「歴史探検バスツアー 利根川地流域の歴史と民俗をたずねる旅 - 取手宿と民俗学者柳田国男をはぐくんだ布川河岸周辺の散策 - 」はとても有意義なものであったと、他のボランティアの方からうかがいました。

そして、今年のボランティア活動については、まず2月に友部のサービスエリアで行われた茨城観光PRで歴史館のチラシ配りを行いました。ちょうど、歴史館では特別展「すもう今昔」、一橋記念館では雛祭りに関する展示が行われていました。チラシ配りはまだ2月で寒く少し疲れましたが、職員の方から、自分たちが配ったチラシがきっかけで歴史館に来てくださったお客様もいたと聞き、嬉しく思いました。また、同様に茨城観光PRに参加している他の団体の方々ともお互いに協力しながらPRを行えたことが、よかったと思います。

次に、今年のボランティア活動の目玉と云うべきではない、「甲冑体験」について述べたいと思います。「甲冑体験」とは、歴史館で購入した体験用の甲冑を小・中学生に着てもらい、甲冑及び歴史に興味を抱いてもらおうという趣旨で行われているものです。体験用のものとはいえ、甲冑に触れるのは私たちボランティアも初めてであり、甲冑の着方を事前に歴史館の職員の方と練習しました。練習では何とか一通り甲冑の着方を覚えることができましたが、実際に子供たちを相手にしてできるか不安でした。しかし、5月4日に実際に子供たちを相手に甲冑体験を行うと、最初こそ上手くできませんでしたが、徐々に甲冑の説明を行いながら、子供たちに甲冑を着てもらえることができました。これには、甲冑体験に参加してくださった子供たちや保護者の方々の力も大きかったと思います。興奮し

ながら甲冑を着る子供たちと、それを見守る保護者の方々の嬉しそうな姿が私たちボランティアの励みになりました。歴史館内にある壁が石垣に似ていて、その前で子供たちが写真をとるのですが、子供たちが甲冑を着て、刀を構えた姿はとても勇ましく感じました。男の子だけでなく、女の子も参加してくださって、女の子が甲冑を着ている姿もとても似合っていました。また、5月5日の茨城県立図書館で行われた「子ども読書フェスティバル」でも多くの子供たちと保護者の方が参加してくださって、喜んでいただけたのがとても嬉しかったです。6月10日・24日にも歴史館で甲冑体験を行いました。両日ともに盛況でした。2月に行われた茨城観光PRでのチラシ配りやこの甲冑体験を通して、ボランティア活動の楽しさを学びました。

今年のボランティア活動の大きな目標は、8月19日に歴史館で行われる「歴史館まつり」で、甲冑体験と勾玉作りを行うことが決まっていますので、それを成功させることです。勾玉作りも実際に歴史館の職員の方に指導していただきました。勾玉作りは少し難しいですが、やってみるととても楽しいものです。この楽しさを子供たちだけでなく、歴史館に来館してくださったお客様に伝わるように頑張りたいと思います。

私たち歴史館ボランティアは昨年に始動しはじめたばかりなので、できることはまだ限られているのが現状です。歴史館で開かれる講習会に参加して、史料修復等を教わっている状態ですが、今後はそれらで学んだ知識を活かし活動の幅を広げていきたいと思っています。そして、子供たちだけでなく、多くの方に歴史に興味をもっていただけるように、また現在、歴史に興味を持っている方のお役に立てるように頑張っていきたいと思っています。